

施設カルテ

施設番号	141	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09
施設基本情報					
施設名	福島 分団機庫				
所在地(住所)	南区千鳥町0026-027-00				
所管局区室課	消防局消防企画総務課				
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設		
財産中分類	公用財産	地区	岡南(福浜)		
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫		
中学校区	福南中学校	小学校区	南輝小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設		
管理運営	直営	延床面積	62.10 m ²		
目的外使用	無	建築面積	31.05 m ²		
土地所有状況	—	敷地面積	133.55 m ²		

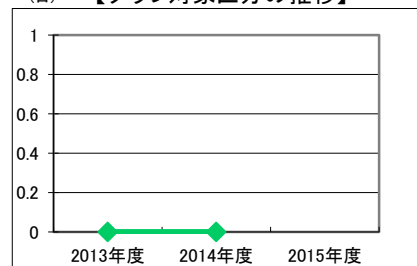


施設概要	消防施設 分団機庫									
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もつて安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する									
設置根拠	消防法、消防組織法									
用途地域	第一種住居地域	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %					
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	1 台					
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	指定なし		
	災害用備蓄の有無	×		屋上緑化・壁面緑化	×		津波時の浸水深	0.3~1.0m未満		
	冷暖房設備	○		設備(電気)	×		地震・危険度	建物全壊率が10~20%の地域		
	通信設備	×		設備(雨水・中水)	×		地震・揺れやすさ	震度6強の地域		
	調理設備	×		その他省エネ	×		地震・液状化危険度	きわめて高い		
	入浴設備	×		分煙対策	全面禁煙		駐車台数	×	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無		開設年月日	1990/06/25	供用廃止日	—

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号 141 施設名 福島 分回機庫

財務情報

●歳出

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		30	105	83	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	22	41	75
		ガス	0	0	0
		水道	8	16	8
	修繕費	-	48	-	
外 訳	役員費	-	-	-	
	委託料	-	-	-	
	使用料及び賃借料	-	-	-	
	備品購入費	-	-	-	
	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

区 分	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

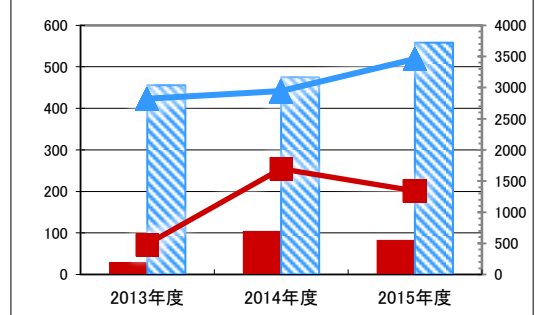
●歳入

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金	-	-	-
	(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
外 訳	直営	-	-	-
	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

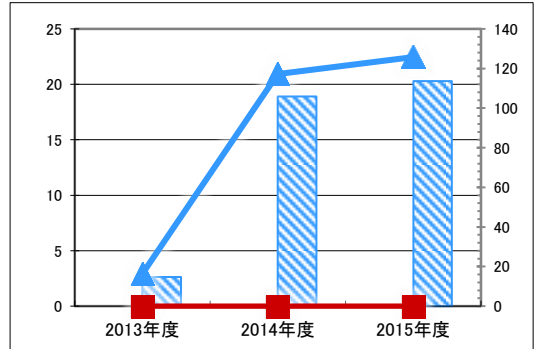
施設分類	消防施設	総施設数	195
区 分	総額(千円)		円/㎡
2013年度	30	第58位	488 第87位
2014年度	105	第27位	1,696 第33位
2015年度	83	第32位	1,342 第40位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

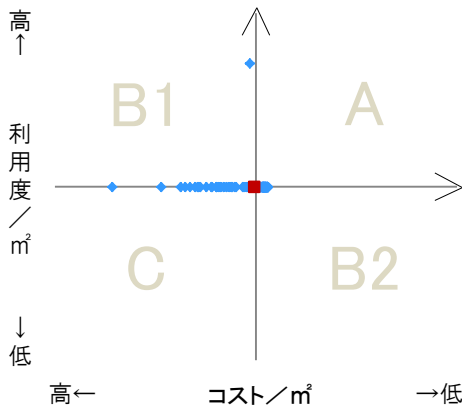
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号	142	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09
------	-----	-----	------------	-----	------------

施設基本情報

施設名	可知 分団機庫				
所在地(住所)	東区可知四丁目0384-005-00				
所管局区室課	消防局消防企画総務課				
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設		
財産中分類	公用財産	地区	西大寺(本庁管轄区域)		
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫		
中学校区	—	小学校区	—		
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設		
管理運営	直営	延床面積	66.65 m ²		
目的外使用	無	建築面積	32.87 m ²		
土地所有状況	—	敷地面積	152.86 m ²		



施設概要	消防施設 分団機庫				
------	-----------	--	--	--	--

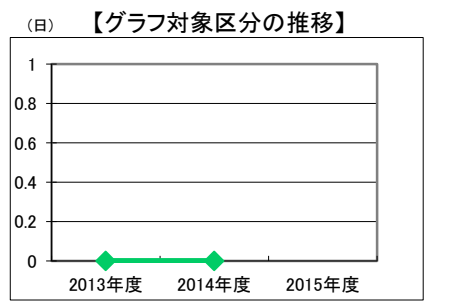
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する				
------	---	--	--	--	--

設置根拠	消防法、消防組織法				
------	-----------	--	--	--	--

用途地域	第一種低層住居専用地域	法定容積率	100 %	法定建蔽率	50 %					
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1棟	駐車台数	1台					
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	バリアフリー化	出入口	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	2.0～5.0m未満		
	災害用備蓄の有無	×		廊下等	×		津波時の浸水深	0.3～1.0m未満		
	冷暖房設備	○		階段	×		地震・危険度	建物全壊率が3～5%の地域		
	通信設備	×		昇降機	×		地震・揺れやすさ	震度6弱の地域		
	調理設備	×		便所	×		地震・液状化危険度	きわめて高い		
	入浴設備	×		分煙対策	全面禁煙		駐車場	×	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無		開設年月日	1989/03/31	供用廃止日	—
				自然エネルギー・太陽光	×					
				屋上緑化・壁面緑化	×					
				設備(電気)	×					
		設備(雨水・中水)	×							
		その他省エネ	×							

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》
 ★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号 142 施設名 可知 分回機庫

財務情報

●歳出

区分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		21	18	15	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	13	9	4
		ガス	0	0	0
		水道	8	9	10
修繕費	-	-	-		
外 訳	役員費	-	-	-	
委託料	-	-	-		
使用料及び賃借料	-	-	-		
備品購入費	-	-	-		
その他経費	-	-	-		

●運営人員数(人)

区分	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

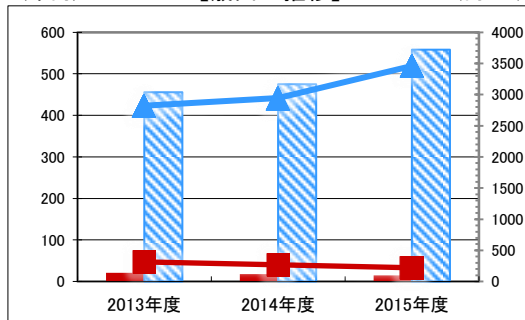
●歳入

区分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
	直営	-	-	-
外 訳	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

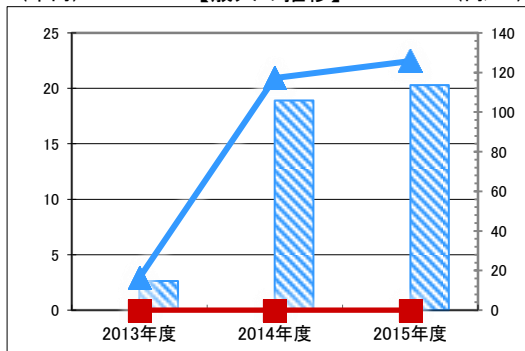
施設分類	消防施設	総施設数	195
区分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	21 第98位	315	第123位
2014年度	18 第115位	269	第141位
2015年度	15 第126位	221	第150位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

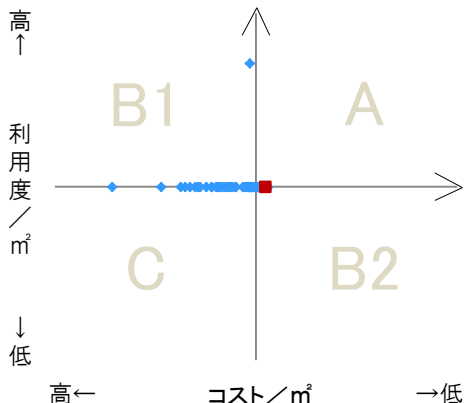
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号	143	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09
施設基本情報					
施設名	光政 分団機庫				
所在地(住所)	東区政津0713-007-00				
所管局区室課	消防局消防企画総務課				
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設		
財産中分類	公用財産	地区	西大寺(本庁管轄区域)		
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫		
中学校区	上南中学校	小学校区	政田小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設		
管理運営	直営	延床面積	51.28 m ²		
目的外使用	無	建築面積	26.44 m ²		
土地所有状況	—	敷地面積	57.00 m ²		

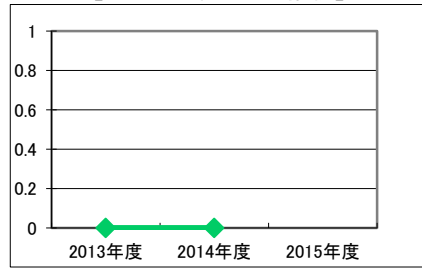


施設概要	消防施設 分団機庫							
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もつて安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する							
設置根拠	消防法、消防組織法							
用途地域	指定なし	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %			
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	1 台			
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	2.0~5.0m未満
	災害用備蓄の有無	×		屋上緑化・壁面緑化	×		津波時の浸水深	0.3~1.0m未満
	冷暖房設備	○		設備(電気)	×		地震・危険度	建物全壊率が7~10%の地域
	通信設備	×		設備(雨水・中水)	×		地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×		その他省エネ	×		地震・液状化危険度	高い
	入浴設備	×		分煙対策	全面禁煙		駐車台数	—
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無		開設年月日	1989/03/18
							供用廃止日	—

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ●—● 年間開館日数(日)

《注記》
 ★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号 143 施設名 光政 分回機庫

財務情報

●歳出

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		14	36	35	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	5	27	25
		ガス	0	0	0
		水道	8	9	10
	修繕費	-	-	-	
外	役員費	-	-	-	
委託料	-	-	-		
使用料及び賃借料	-	-	-		
備品購入費	-	-	-		
その他経費	-	-	-		

●運営人員数(人)

種別	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

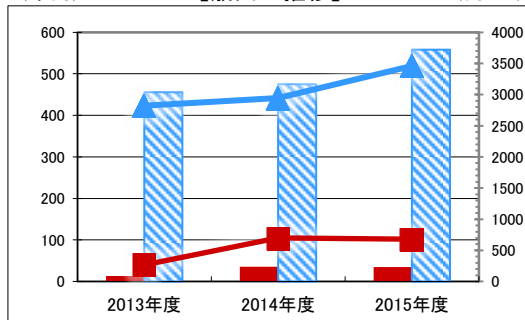
●歳入

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金	-	-	-
	(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
外 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

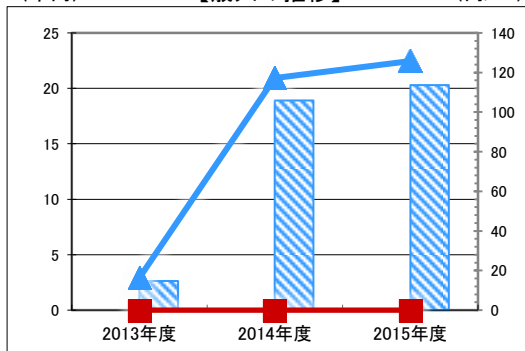
施設分類	消防施設	総施設数	195
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	14 第123位	266	第132位
2014年度	36 第60位	698	第61位
2015年度	35 第56位	681	第65位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

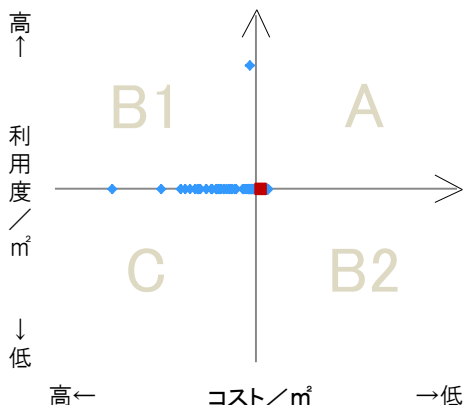
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号	144	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09
施設基本情報					
施設名	福田第一 分団機庫				
所在地(住所)	南区大福0497-001-00				
所管局区室課	消防局消防企画総務課				
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設		
財産中分類	公用財産	地区	福田		
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫		
中学校区	福田中学校	小学校区	福田小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設		
管理運営	直営	延床面積	51.28 m ²		
目的外使用	無	建築面積	26.44 m ²		
土地所有状況	—	敷地面積	— m ²		

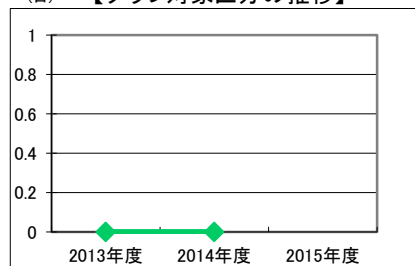


施設概要	消防施設 分団機庫							
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する							
設置根拠	消防法、消防組織法							
用途地域	第二種中高層住居専用地域	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %			
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	1 台			
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	0.5~1.0m未満
	災害用備蓄の有無	×		屋上緑化・壁面緑化	×		津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	○		設備(電気)	×		地震・危険度	建物全壊率が7~10%の地域
	通信設備	×		設備(雨水・中水)	×		地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×		その他省エネ	×		地震・液状化危険度	極めて低い
	入浴設備	×		分煙対策	全面禁煙		駐車台数	1 台
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無		開設年月日	1990/03/31
							供用廃止日	—

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	144	施設名	福田第一 分団機庫
------	-----	-----	-----------

財務情報

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		31	6	6	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	12	6	6
		ガス	0	0	0
		水道	0	0	0
修繕費	19	-	-		
外	役員費	-	-	-	
外	委託料	-	-	-	
外	使用料及び賃借料	-	-	-	
外	備品購入費	-	-	-	
外	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

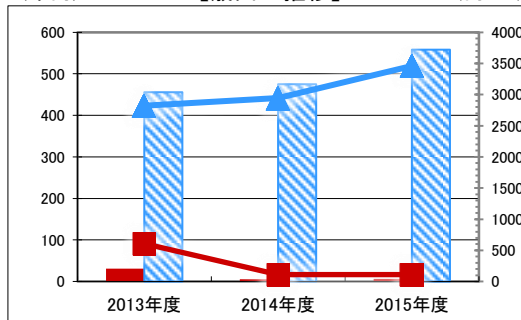
※運営人員数の人件費は理論値です。

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金 (使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
	外	使用料及び手数料	-	-
外	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

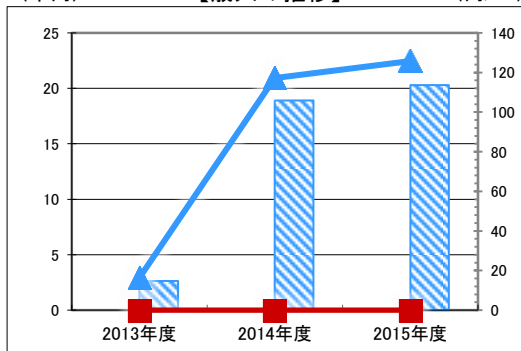
施設分類	消防施設	総施設数	195
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	31 第55位	605	第71位
2014年度	6 第165位	112	第177位
2015年度	6 第162位	118	第173位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

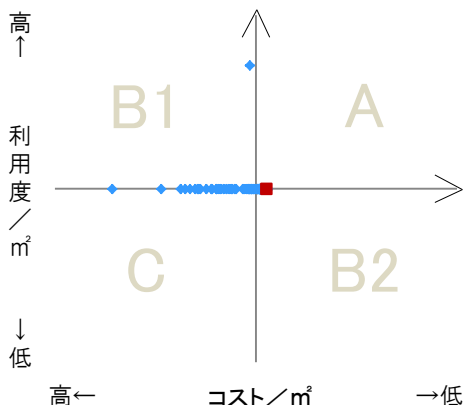
特記事項

施設メモ	
------	--

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号	145	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09
施設基本情報					
施設名	大野 分団機庫				
所在地(住所)	北区大安寺中町0645-000-00				
所管局区室課	消防局消防企画総務課				
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設		
財産中分類	公用財産	地区	北区本庁管轄区域		
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫		
中学校区	石井中学校	小学校区	大野小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設		
管理運営	直営	延床面積	44.44 m ²		
目的外使用	無	建築面積	22.22 m ²		
土地所有状況	—	敷地面積	22.22 m ²		

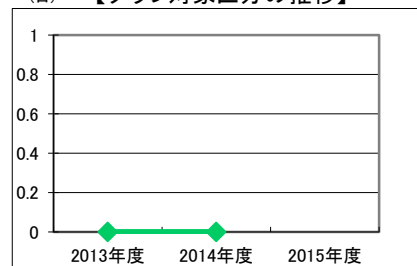


施設概要	消防施設 分団機庫					
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もつて安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する					
設置根拠	消防法、消防組織法					
用途地域	第一種中高層住居専用地域	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %	
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	1 台	
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮 自然エネルギー・太陽光 屋上緑化・壁面緑化 設備(電気) 設備(雨水・中水) その他省エネ 分煙対策 全面禁煙 アスベストの使用	×	ハザードマップ指定 洪水時の浸水深 津波時の浸水深 地震・危険度 地震・揺れやすさ 地震・液状化危険度 土砂災害計画区域等	0.5~1.0m未満
	災害用備蓄の有無	×		×		指定なし
	冷暖房設備	○		×		建物全壊率が3~5%の地域
	通信設備	×		×		震度6弱の地域
	調理設備	×		×		低い
	入浴設備	×		×		指定なし
	代替電源設備	×		無		—
出入口	×	ハ				
廊下等	×	リ				
階段	×	ア				
昇降機	×	フ				
便所	×	リ				
駐車場	×	化				
開設年月日	1990/03/30		開設年月日	1990/03/30		
供用廃止日	—					

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ●—● 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号 145 施設名 大野 分回機庫

財務情報

●歳出

区分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		25	310	20	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	16	11	13
		ガス	0	0	0
	水道	8	9	7	
	修繕費	-	289	-	
外 訳	役務費	-	-	-	
	委託料	-	-	-	
	使用料及び賃借料	-	-	-	
	備品購入費	-	-	-	
	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

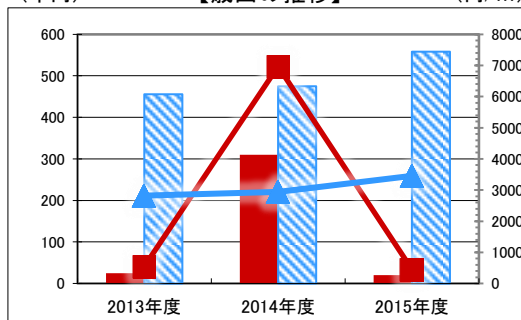
●歳入

区分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 訳	指定管理	利用料金	-	-
		(使用料)	-	-
		目的外使用料	-	-
	その他	-	-	
直営	使用料及び手数料	-	-	
	目的外使用料	-	-	

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

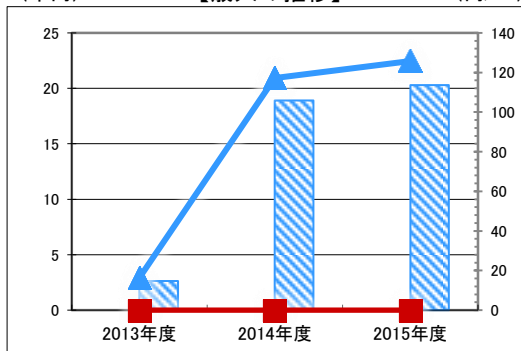
施設分類	消防施設	総施設数	195
区分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	25 第78位	552	第73位
2014年度	310 第22位	6,966	第4位
2015年度	20 第106位	461	第90位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

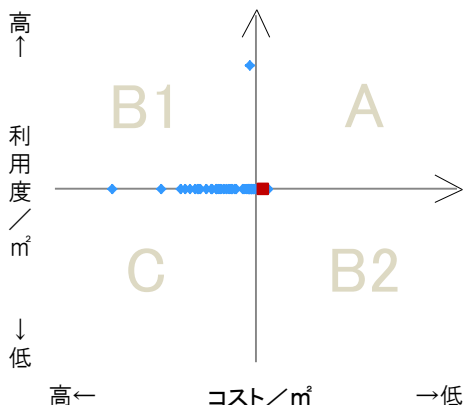
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号	146	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09
施設基本情報					
施設名	豊 分団機庫				
所在地(住所)	東区西大寺浜0104-001-00				
所管局区室課	消防局消防企画総務課				
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設		
財産中分類	公用財産	地区	西大寺(本庁管轄区域)		
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫		
中学校区	西大寺中学校	小学校区	豊小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設		
管理運営	直営	延床面積	51.28 m ²		
目的外使用	無	建築面積	26.44 m ²		
土地所有状況	—	敷地面積	— m ²		

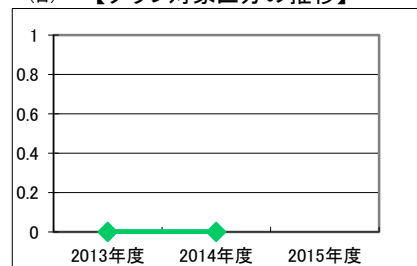


施設概要	消防施設 分団機庫								
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もつて安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する								
設置根拠	消防法、消防組織法								
用途地域	第一種中高層住居専用地域	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %				
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	1 台				
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮 自然エネルギー・太陽光 屋上緑化・壁面緑化 設備(電気) 設備(雨水・中水) その他省エネ 分煙対策 全面禁煙 アスベストの使用	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	指定なし		
	災害用備蓄の有無	×		×		津波時の浸水深	指定なし		
	冷暖房設備	○		×		地震・危険度	—		
	通信設備	×		×		地震・揺れやすさ	震度6弱の地域		
	調理設備	×		×		地震・液状化危険度	きわめて高い		
	入浴設備	×		×		土砂災害計画区域等	指定なし		
	代替電源設備	×		無		開設年月日	1989/12/12	供用廃止日	—
						出入口	×		
			廊下等	×					
			階段	×					
			昇降機	×					
			便所	×					
			駐車場	×					

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ●—● 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号 146 施設名 豊分団機庫

財務情報

●歳出

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		0	0	0	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	0	0	0
		ガス	0	0	0
		水道	0	0	0
	修繕費	-	-	-	
外 訳	役員費	-	-	-	
委託料	-	-	-		
使用料及び賃借料	-	-	-		
備品購入費	-	-	-		
その他経費	-	-	-		

●運営人員数(人)

種別	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

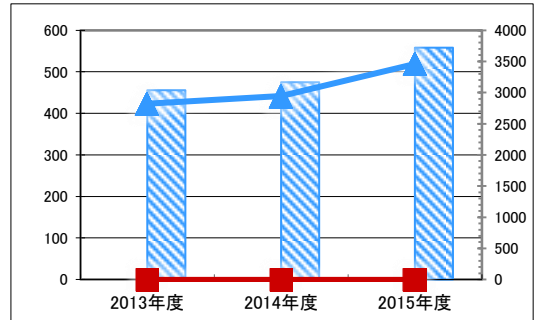
●歳入

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 訳	指定管理	利用料金	-	-
		(使用料)	-	-
		目的外使用料	-	-
	その他	-	-	
直営	使用料及び手数料	-	-	
目的外使用料	-	-		

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

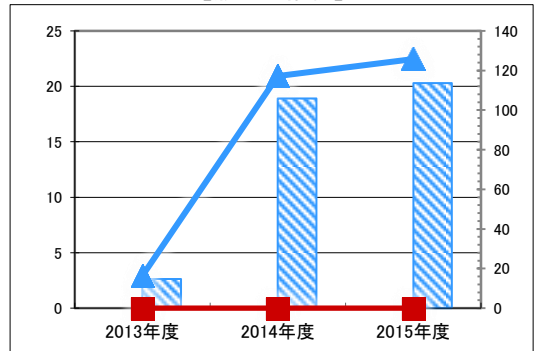
施設分類	消防施設	総施設数	195
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	0	0	-
2014年度	0	0	-
2015年度	0	0	-

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

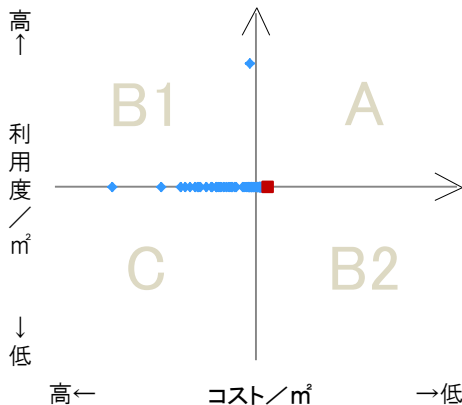
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 147 基準日 2015/04/01 出力日 2017/03/09

施設基本情報

施設名	一宮 分団機庫		
所在地(住所)	北区西辛川0006-002-00		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地区	一宮
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	中山中学校	小学校区	中山小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	62.10 m ²
目的外使用	無	建築面積	31.50 m ²
土地所有状況	—	敷地面積	166.25 m ²



施設概要 消防施設 分団機庫

設置目的 火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する

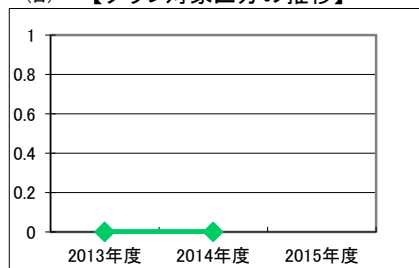
設置根拠 消防法、消防組織法

用途地域	近隣商業地域	法定容積率	200 %	法定建蔽率	80 %	
用途地域以外の指定地域	準防火地域	全棟数	1 棟	駐車台数	1 台	
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	出入口	×	洪水時の浸水深	指定なし
	災害用備蓄の有無	×	廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	○	階段	×	地震・危険度	建物全壊率が3～5%の地域
	通信設備	×	昇降機	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×	便所	×	地震・液状化危険度	きわめて高い
	入浴設備	×	駐車場	×	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×	開設年月日	1991/03/28	供用廃止日	—
		環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×		
			屋上緑化・壁面緑化	×		
			設備(電気)	×		

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ●—● 年間開館日数(日)

《注記》
 ★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号 147 施設名 一宮 分回機庫

財務情報

●歳出

区分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		24	29	27	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	電気	光熱水費	4	21	20
		水道	0	0	0
	修繕費	20	9	7	
外	役務費	-	-	-	
外	委託料	-	-	-	
外	使用料及び賃借料	-	-	-	
外	備品購入費	-	-	-	
外	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

区分	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

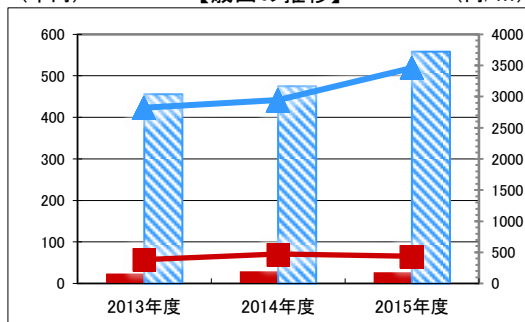
●歳入

区分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
	直営	-	-	-
外	使用料及び手数料	-	-	-
外	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

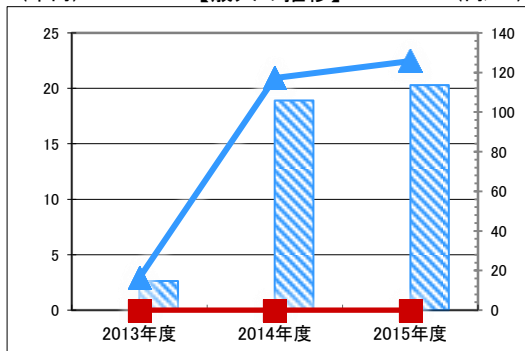
施設分類	消防施設	総施設数	195
区分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	24 第80位	384	第110位
2014年度	29 第77位	474	第95位
2015年度	27 第72位	437	第96位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

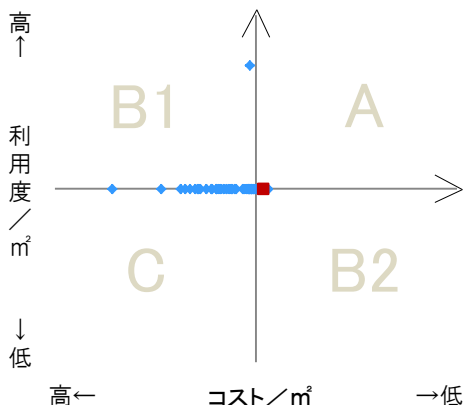
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 148 基準日 2015/04/01 出力日 2017/03/09

施設基本情報

施設名	野谷 分団機庫			
所在地(住所)	北区菅野1095-001-00			
所管局区室課	消防局消防企画総務課			
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設	
財産中分類	公用財産	地区	津高	
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫	
中学校区	香和中学校	小学校区	野谷小学校	
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設	
管理運営	直営	延床面積	56.78 m ²	
目的外使用	無	建築面積	28.39 m ²	
土地所有状況	—	敷地面積	28.39 m ²	

施設概要 消防施設 分団機庫

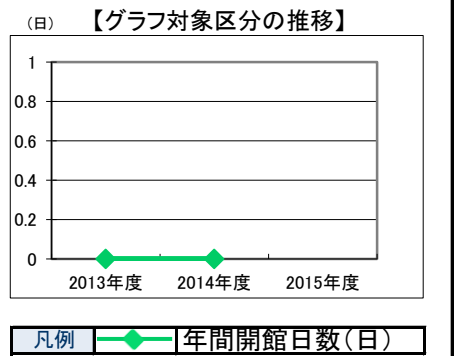
設置目的 火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する

設置根拠 消防法、消防組織法

用途地域	指定なし	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %	
用途地域以外の指定地域	地区計画	全棟数	1 棟	駐車台数	1 台	
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	出入口	×	洪水時の浸水深	指定なし
	災害用備蓄の有無	×	廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	×	階段	×	地震・危険度	建物全壊率が3～5%の地域
	通信設備	×	昇降機	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×	便所	×	地震・液状化危険度	極めて低い
	入浴設備	×	駐車場	×	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×	開設年月日	1993/09/01	供用廃止日	—
		環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×		
			屋上緑化・壁面緑化	×		
			設備(電気)	×		

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



《注記》
 ★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号 148 施設名 野谷 分回機庫

財務情報

●歳出

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		13	29	15	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	4	4	4
		ガス	0	0	0
		水道	8	25	10
	修繕費	-	-	-	
外 訳	役員費	-	-	-	
	委託料	-	-	-	
	使用料及び賃借料	-	-	-	
	備品購入費	-	-	-	
	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

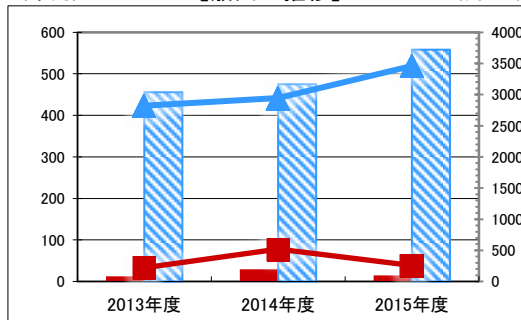
●歳入

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳入合計		0	0	0	
内 訳	指定管理	利用料金 (使用料)	-	-	-
		目的外使用料	-	-	-
		その他	-	-	-
	直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-	

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

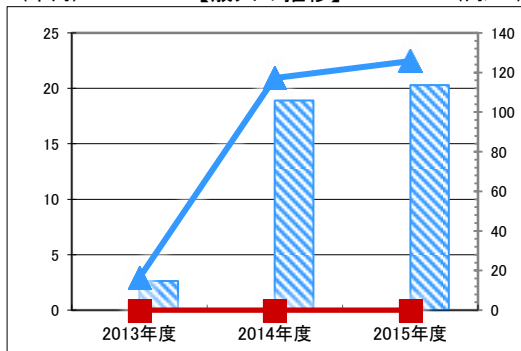
施設分類	消防施設	総施設数	195
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	13 第132位	221	第145位
2014年度	29 第78位	518	第87位
2015年度	15 第127位	260	第140位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

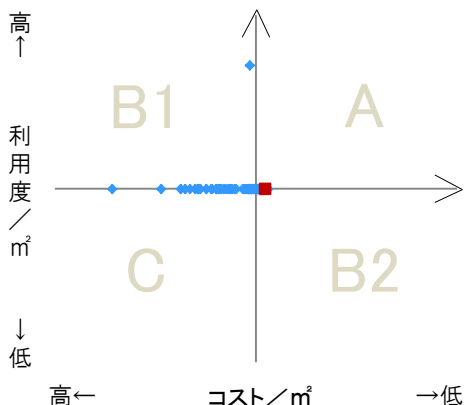
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号 151 基準日 2015/04/01 出力日 2017/03/09

施設基本情報

施設名	御休 分団機庫		
所在地(住所)	東区浅川0317-004-00		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地区	上道
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	上道中学校	小学校区	御休小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	66.58 m ²
目的外使用	無	建築面積	33.28 m ²
土地所有状況	—	敷地面積	132.00 m ²



施設概要 消防施設 分団機庫

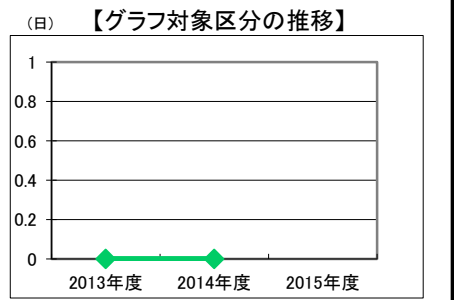
設置目的 火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もつて安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する

設置根拠 消防法、消防組織法

用途地域	指定なし	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %				
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	1 台				
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	出入口	×	洪水時の浸水深	2.0~5.0m未満		
	災害用備蓄の有無	×		廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし		
	冷暖房設備	○		階段	×	地震・危険度	建物全壊率が3~5%の地域		
	通信設備	×		昇降機	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域		
	調理設備	×		便所	×	地震・液状化危険度	高い		
	入浴設備	×		分煙対策	全面禁煙	駐車場	×	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無	開設年月日	2002/03/15	供用廃止日	—

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》
 ★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号 151 施設名 御休 分回機庫

財務情報

●歳出

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		15	237	340	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	電気	電氣	0	0	0
		光熱水費	0	0	0
	水道	ガス	15	9	7
		水道	-	-	-
修繕費	-	229	333		
外	役員費	-	-	-	
外	委託料	-	-	-	
外	使用料及び賃借料	-	-	-	
外	備品購入費	-	-	-	
外	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

種別	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

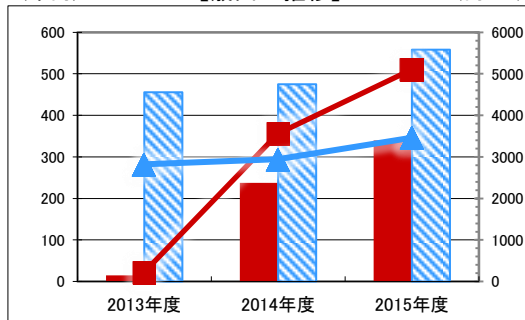
●歳入

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金	-	-	-
	(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
外 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

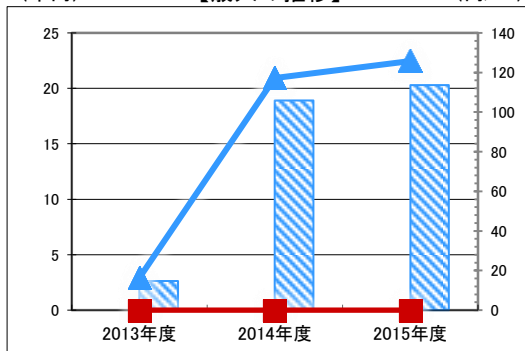
施設分類	消防施設	総施設数	195
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	15 第121位	228	第143位
2014年度	237 第24位	3,564	第18位
2015年度	340 第22位	5,103	第14位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

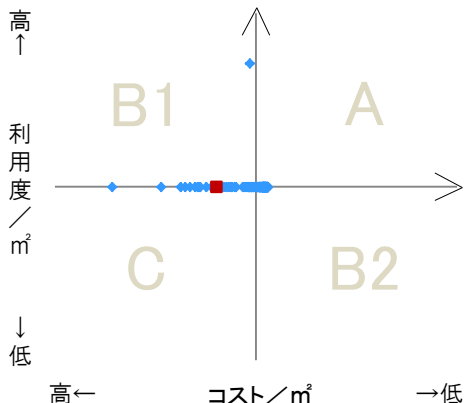
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

施設カルテ

施設番号	152	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09
施設基本情報					
施設名	高島 分団機庫				
所在地(住所)	中区湯迫0145-009-00				
所管局区室課	消防局消防企画総務課				
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設		
財産中分類	公用財産	地区	中区本庁管轄区域		
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫		
中学校区	高島中学校	小学校区	高島小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設		
管理運営	直営	延床面積	67.56 m ²		
目的外使用	無	建築面積	33.78 m ²		
土地所有状況	—	敷地面積	100.00 m ²		

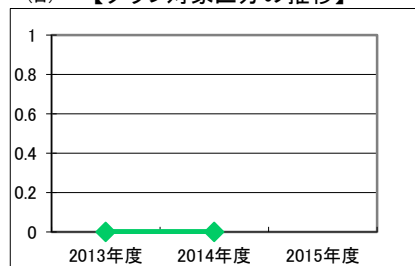


施設概要	消防施設 分団機庫							
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もつて安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する							
設置根拠	消防法、消防組織法							
用途地域	指定なし	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %			
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	1 台			
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	指定なし
	災害用備蓄の有無	×		屋上緑化・壁面緑化	×		津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	○		設備(電気)	×		地震・危険度	—
	通信設備	×		設備(雨水・中水)	×		地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×		その他省エネ	×		地震・液状化危険度	高い
	入浴設備	×		分煙対策	全面禁煙		駐車台数	1 台
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無		開設年月日	2000/03/31
							供用廃止日	—

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号 152 施設名 高島 分回機庫

財務情報

●歳出

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		17	9	108	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	0	0	0
		ガス	0	0	0
		水道	17	9	10
	修繕費	-	-	98	
外 訳	役員費	-	-	-	
	委託料	-	-	-	
	使用料及び賃借料	-	-	-	
	備品購入費	-	-	-	
	その他経費	-	-	-	

●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

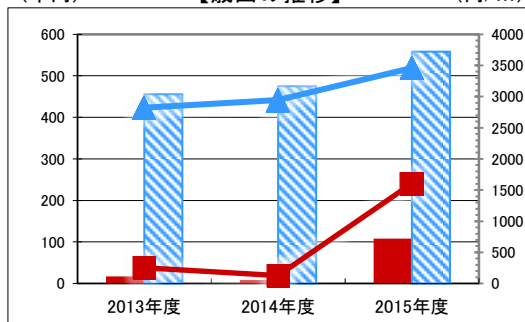
●歳入

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金	-	-	-
	(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
外 訳 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

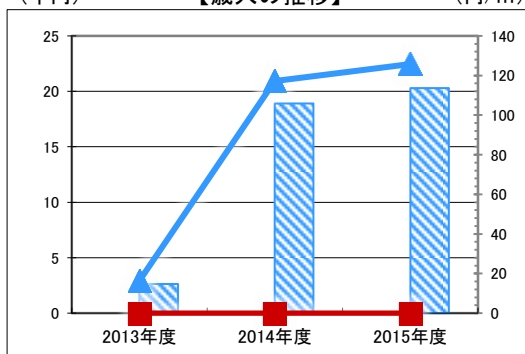
施設分類	消防施設	総施設数	195
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	17 第113位	254	第138位
2014年度	9 第153位	128	第174位
2015年度	108 第30位	1,605	第34位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

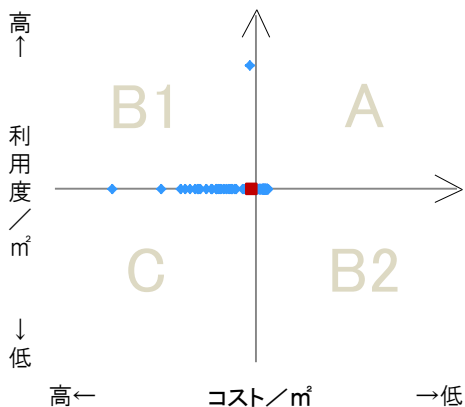
特記事項

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

